

平時の“いつも”と災害時の“もしも”
レジリエンスを加速させる
デジタルレジリエンス
サービス

富士通株式会社

1. 本資料は弊社提案の採用の可否の判定のためにのみご利用願います。
2. 本資料およびこの内容については、第三者に開示、提供等されないように願います。

近年の事業継続における課題

リスク状況がタイムリーに収集・把握、対応できない

想定以外エリアの災害、想定外の平時リスクトラブル発生

関係者の情報共有が遅れ、迅速な意思決定や組織対応ができない

リスク発生時の関係者増加、様々な情報が点在し正しい情報がわからない

有事・災害時だけでなく平時から活用可能なシステムの必要性

フェーズフリー視点でのデータ収集など効果的な活用

国・自治体、企業等のあらゆる情報を収集、可視化
平時からデータを有効活用し、DX推進と有事・災害時対応を実現することが必須

有事・災害時に利用するモノは平時に利用できないか？



平時

通常業務での
データ連携・利活用

購買データ x 気象情報
SNSによる市場調査



有事・災害時

各種リスクの状況把握と
対応判断

気象災害情報
サプライチェーン
不祥事等のトラブル

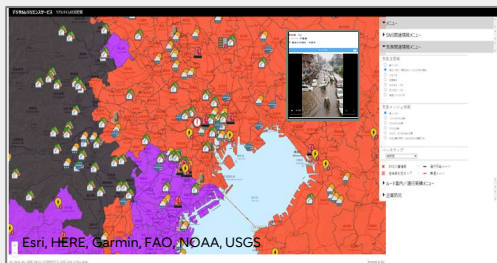
平時に利用できないモノは、有事・災害時に効果的に利用できない
有事・災害時に利用できるモノは、平時にも価値がある

データを活用した課題解決

平時の業務トラブル、有事・災害時の気候変動、自然災害等、事業継続課題に対し、データを組合せ・分析・シミュレーション等を行うことで課題解決の視点が生まれる

リアルタイムの情報収集と可視化

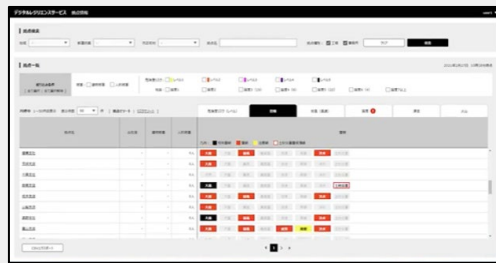
リスク発生前～発生後の
正確な情報収集・状況把握



現場で何がおきているかを
発生場所・エリアで確認する

情報共有と意思決定の迅速化

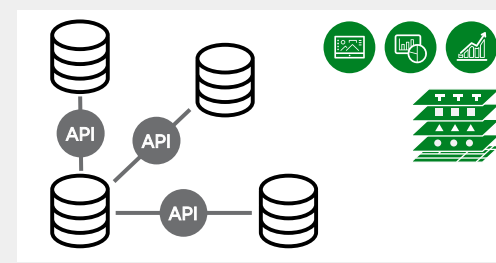
時間を追うごとに増加する状況変化に
対し、関係者と早急な共有・判断



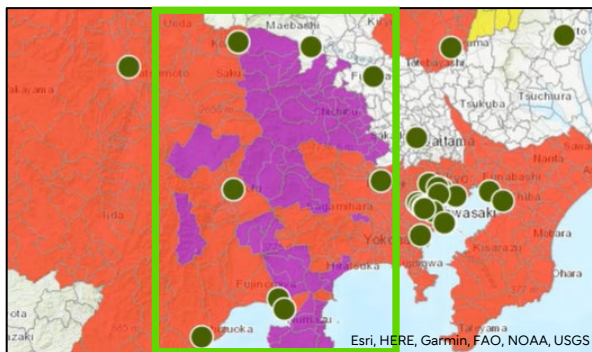
変化するリスク状況に対し
随時、最適な組織対応を行う

データ利活用

業務システム保有データと
データを組合せ、価値を出す



業務システムへ必要データを連携
シミュレーション・分析等で価値提供



- : 甚大なリスク発生エリア（注警報 発令中）
- : 関連設備、管理アセット、サプライヤー様拠点等

⚠️ 甚大かつ広域な自然災害が発生

現状の情報収集、状況把握

報告

自社拠点・サプライヤー様へ注意喚起

報告

自社拠点・サプライヤー様の状況確認、対応

発災

対応中

復旧

早期のリスク状況の把握、リスク発生後の早急な対応検討により
迅速な意思決定と各関係者への共有・指示をスピードアップ

あらゆる場所に点在する情報を一元的に集約し把握することが、
早急な状況把握と判断を可能にする



発生したリスクについて自社拠点・サプライヤー様の位置と紐づけて状況把握

データ分析、シミュレーション等で今後の変化を想定、リスクを軽減するための対応を検討・指示

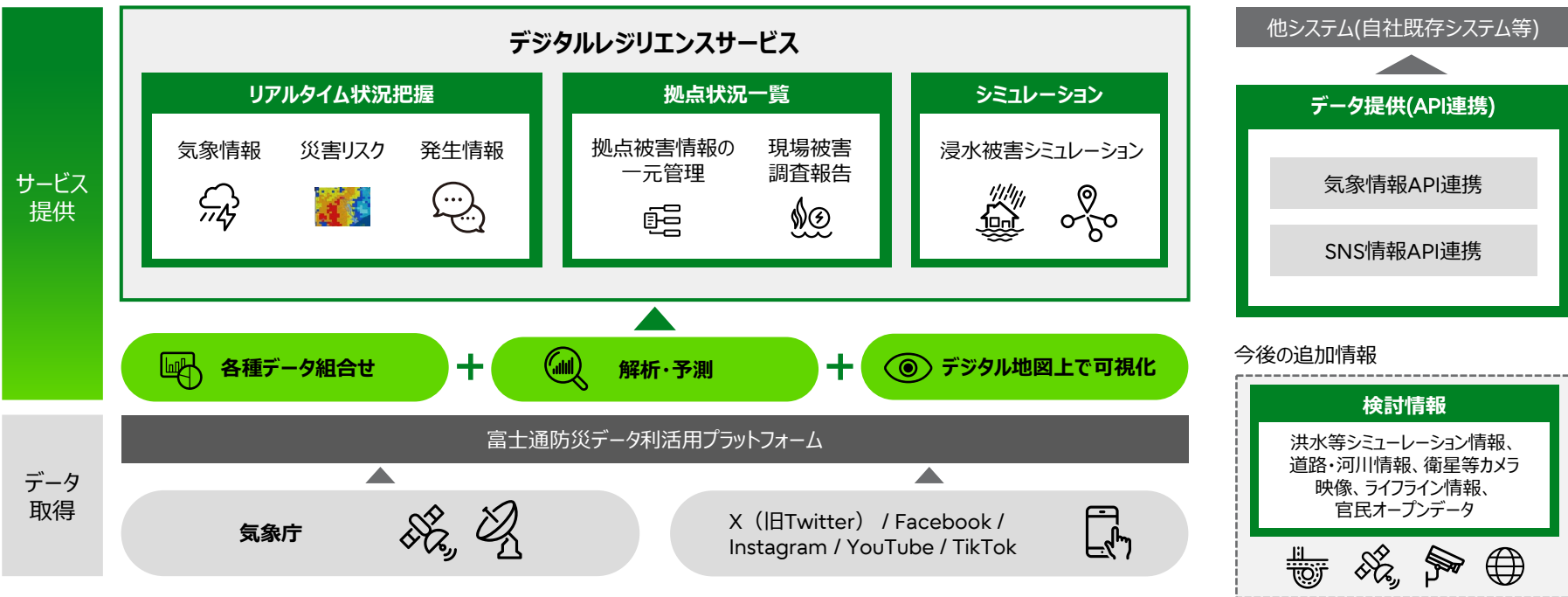
共通情報を関係者で確認、相互理解の上次の対応を行う

現在の状況を踏まえ、データ活用により次の対応を想定することで
リスク発生後の組織対応を迅速に行い、リスクを軽減する

二次災害を踏まえ、様々な状況により変化する被害、影響を受けたエリアの状況を
関係者間で早急に共通理解をすることが、迅速な意思決定を実現する

デジタルレジリエンスサービス

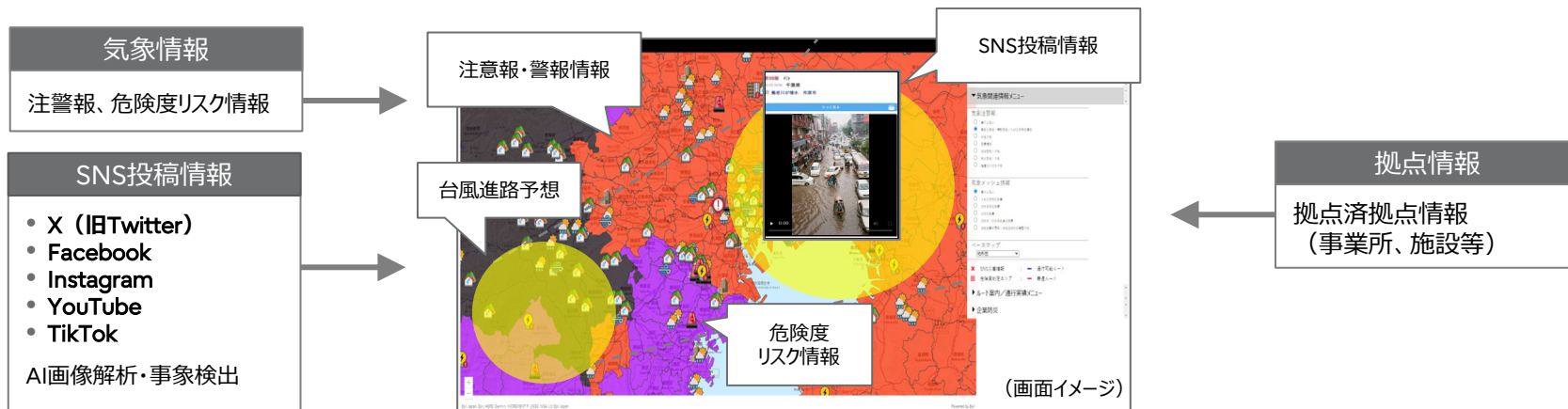
デジタルレジリエンスサービスのコンセプト



多様なデータを活用し、平時から災害時の社会課題解決をサポート

リアルタイム状況把握

拠点情報、気象注警報、災害リスク、気象観測・予報情報、SNS投稿情報などをリアルタイムに地図上にマッピング



主な機能

1 気象関連情報表示機能

2 SNS関連情報表示機能

3 拠点情報表示機能

現在起きている事象を網羅的・一元的に可視化し、的確な対策判断をご支援

各種データから、どこで何が起きているかをリアルタイムにGISへマッピング

拠点状況一覽

登録している拠点に対して、現在迫っているリスク情報や時系列予報等を一覧形式で表示したり、拠点からの被災情報報告（情報登録）により、状況収集や対策検討をご支援



拠点登録情報



注警報・リスク情報



現場報告

No.	拠点名	建物被害	人的被害	危険	被害予測 (mm/y)		被害状況 (土砂災害)		被害状況 (浸水)		被害状況 (浸水)		被害状況 (浸水)	
					被害予測	被害状況	被害状況	被害状況	被害状況	被害状況	被害状況	被害状況		
35	東京エレクトロニクス	-	-	危険	3	4	3	4	2	1	0	0	0	0
36	東京エレクトロニクス	-	-	危険	2	4	3	4	2	1	0	0	0	0
37	山崎電気	-	-	危険	2	4	3	4	2	1	0	0	0	0
38	東京エレクトロニクス	-	-	危険	2	4	3	4	2	1	0	0	0	0
39	山崎電気	-	-	危険	2	5	3	4	1	1	0	0	0	0
40	東京エレクトロニクス	-	-	危険	2	5	3	4	1	1	0	0	0	0
41	東京エレクトロニクス	-	-	危険	2	5	3	4	1	1	0	0	0	0
42	山崎電気	-	-	危険	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0



CSV出力



(画面イメージ)

主な機能

1

拠点別リスク状況照会

2

絞り込み条件機能

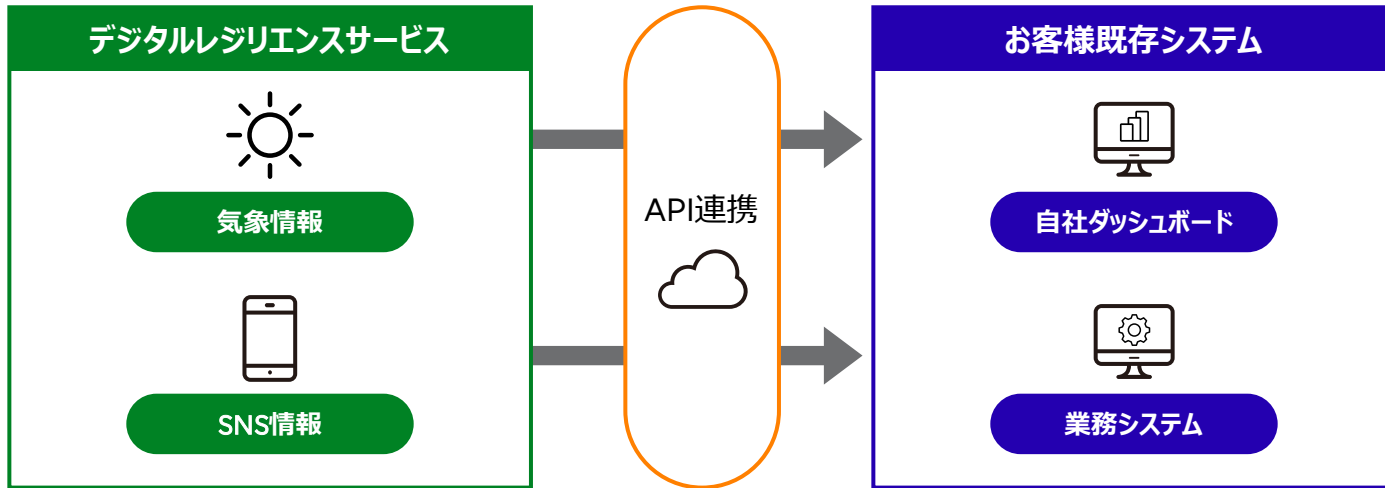
3

現場報告機能

拠点の被災状況を一元管理し、対策検討や集計・報告をリアルタイムでご支援

管理対象施設に対するリスク情報と現場からの報告を合わせて可視化

データ提供（API連携 | オプション）



必要情報をデジレジから一括連携し有効活用

必要情報共通化により対応業務のバラつきを防止

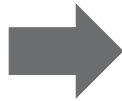
既存システム保有データと連携データを組合せ、価値提供

対象エリア周辺の気象・リスク状況を自社ダッシュボードにデータ連携
必要システムにデータ連携することで、データ活用による実業務の効率化

浸水被害シミュレーション | (オプション)



SNSの投稿情報



SNS投稿情報・位置情報



地形データ



降水量

上記データを重ね合わせ、投稿場所周辺の浸水深と浸水域を推定し地図上に表示

SNS投稿画像と地形、降水量等から浸水エリア・浸水深を解析し
リスク発生推定として浸水推定情報をマップ上に表現

Thank you

